

3

オホーツクの自然を生かした、子供達の自然体験活動

特定非営利活動法人 自然体験村 虫夢ところ昆虫の家

北海道常呂町

故 滝沢始氏が「子供達が自然と触れ合える施設を作りたい」という思いから、旧常呂町立吉野小学校の廃校を買い取り、すでに養豚場として改修されていた校舎を手作りで更に改修し、施設整備を行っていました。滝沢氏が亡くなられても、地域住民が意志を引き継ぎ、特定非営利活動法人 自然体験村 虫夢ところ昆虫の家を設立し、年間を通じ、子供達を対象とした、オホーツクの地域特性を生かした自然体験活動を行っています。

その季節に応じて、森探索、水中生物観察、サロマ湖ワッカ自然観察、ジャガイモ収穫、天体観測などを行う

「週末自然体験」を原則、月に一度開催しています。

「いきいきオホーツク自然体験村」として、全国から子供達が集まり2週間に及ぶ長期合宿を通じ、ジャガイモ収穫などの農家体験、サロマ湖やオホーツク海に出てホタテ漁などを体験する漁師体験、地域の名人が指導して自分たちで作る手打ちそば体験、ホテルの観察や東京大学の協力を得てのオホーツク文化の体験、遺跡発掘体験やカヌー体験など、子供達が自然と触れ合い、さらに、自然の優しさ、自然の厳しさを学ぶ活動を行っています。この他にも様々な自然体験活動を展開しています。



旧吉野小学校



「生きる力」を養うことを目的にした子ども長期自然体験キャンプ



道立常呂少年自然の家の協力による、カヌーの指導・体験

data3

- ①北海道常呂郡常呂町
- ②・常呂町市街地から車で約20分
・北海道北見バス常呂線吉野入口停留所から徒歩約40分
- ③カーリングホール、森林公園、手工芸の館、ところ遺跡の館、サロマ湖ワッカネイチャーセンター、北海道立常呂少年自然の家
- ④子供達を対象に様々な自然体験活動を行うための、企画・実施施設を維持管理するための、補修作業や維持作業 など

